

1	日	
2	月	
3	火	園児健康診断 (内科)
4	水	
5	木	園児健康診断 (耳鼻科)
6	金	園開放
7	土	
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	園開放
14	土	東雲みみょうフェスティバル
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	みみょう文庫
19	木	園児健康診断 (眼科)
20	金	園開放
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	園開放 避難訓練・誕生日会
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

11月の予定

- 11月 2日 避難訓練
- 11月 11日 保育参観・試食会  
(詳しい内容は別紙にてお知らせします)
- 11月 17日 誕生日会

消さないで

あなたの心の 注意の火 広島市南消防署 警防課 救助係



粘り強く何度も挑戦する子どもたち



この写真の子どもたちの姿をご覧になり、みなさんはどんなことを感じますか。

園庭に大きな砂山を作りました。子どもたちは、お外に出ると一目散に砂山へと駆け出しています。

四つ這いになって地面にしっかり手をつきながら登ったり、足にぐっと力を入れ、立った姿勢で身体のバランスをとりながら、登ってみようと挑戦したり…。時に、ずるずるずるっと滑り落ちてしまい「あ～あっ」と残念そうな表情を見せることも…。身体をめいっぱい使いながら、“登っては滑り降りる”ことを何度も繰り返し楽しんでいきます。

この写真は、そんな一場面です。子どもたちは、面白そう、やってみたいという気持ちをきっかけに様々なことにチャレンジしていきます。その中で、考えたり、試したり、何度も挑戦したり…。うまくいかないと「なんでだろう」「どうやったらいいんだろう」ととことん追求し、試行錯誤しながら夢中になって遊んでいるのです。

今回用意した砂山という環境は、子どものやりたい気持ちはもちろんですが、身体を使うことの面白さも味あわせてくれています。例えば

ずるずるずるっと斜面を滑り落ちる中で、身体のバランスのととり方や足を踏ん張る力の加減を知ったり、何度も駆け登ることで、勢いをコントロールすることの面白さを感じたりと、砂山を登って遊ぶ経験から子どもたちの身体の使い方にも変化が表れています。

玉川大学大学院教授の大豆生田先生は、「子どもは有能な学び手だ」と言われています。

どんなに小さな子どもたちも自分のやりたいことに対して挑戦する力を持っています。

また、やりたいからこそ、すぐに諦めず、粘り強くやり抜いていく。子どもたちは、遊びの中で好奇心や探究心、忍耐力など目には見えない力を身につけているのです。

まさに、この写真からも、子どもたちの学び育つ姿が感じられないでしょうか。

子どもたちのこうした「やりたい」がより発揮できるような好奇心をくすぐるあそびや環境を私たちは、これからも常に意識し考え、保育を進めていきたいと思っています。

先日、Aちゃんが心配そうな表情で「蝉さんないてないね」と教えてくれました。

7月。蝉が鳴き始めたのに気づいたのもAちゃんでした。

鳴いてないと気づいた発見。「なんでないてないんだらう？」という疑問。季節の移り変わりの中にも子どもが感じる気づきがたくさんあります。ぜひご家庭でもお子さんのつぶやきに耳を傾けてみてください。子どもたちの驚くような気づきに出会えるかもしれませんよ。

園長

子育て応援コラム

ゆれながら  
前へ進まず  
お前がくれた  
木馬の時間  
子育ては

歌人 俵 万智  
歌集「プーさんの鼻」より



子育ては、うまくいくことばかりではないですね。でもうまくいかない時も子どもはちゃんと育っているのです。

秋の夜長、少しの時間、絵本の読み聞かせを通じて親子の触れ合いの時間を持ってみませんか？きっとほかほか心が温まり落ち着くことでしょう。

東雲みみょうフェスティバル

日時：10月14日(土)  
10:00~14:00

場所：第二みみょうこども園  
(詳しい内容は別紙にてお知らせします)

